

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	首都キガリの人々の雇用および収入創出の機会が増大する
(2) 事業内容	<p>(1) 高度な日本の洋裁技術習得訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業用電動ミシンによる洋裁技術訓練。 ・日本全国から寄贈された着物を訓練教材として使用。 ・日本人洋裁専門家および現地洋裁専門家協同の訓練。 <p>(2) 現地洋裁専門家への TOT: Training of Trainer 技術力定着を目指し、日本人洋裁専門家による現地洋裁専門家への TOT を実施。</p> <p>(3) 適切なモニタリング・評価の実施</p> <p>(4) 1年目修了生のフォローアップ</p>
(3) 達成された効果	<p>(1) 高度な日本の洋裁技術習得訓練を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業用電動ミシンによる洋裁技術訓練 ・平日 4 日、午前 31 名、午後 25 名、各 4 時間のコースに分かれ、合計 56 名の直接裨益者に訓練を実施。訓練生 1 名につき 1 ヶ月平均 64 時間(1 日 4 時間×週 4 日×4 週間)の実習により、工業用電動ミシンに触れたこともなかった訓練生が、訓練開始後 4 ヶ月を経てミシンを自在に扱うまでの成長している。 ・日本全国から寄贈された正絹の着物を訓練教材として使用。扱いの難しい繊細な正絹の生地は、裁断、縫製、アイロンに至るまで細かい配慮が要求されるため、高度な技術力の習得ができる。現時点年間カリキュラムの内、着物地による 5 アイテムの洋服制作実習のうち、現在「浴衣ブラウス」、「着物ブラウス」2 アイテムの実習が終了。 ・ルワンダ現地の伝統的な生地「ギテンゲ」を使った実習。年間カリキュラムの内、ギテンゲによる 5 アイテムの洋服製作のうち、「制服」、「イージーパンツ」の 2 アイテムの実習が終了。 ・日本人現地事業担当兼洋裁専門家および現地洋裁専門家協同により、英語および現地語のキニアルワンダ語による訓練を実施。日本人洋裁専門家 1 名、ルワンダ人洋裁専門家、ルワンダ人洋裁アシスタント合計 11 名体制によるハンズ・オン指導により、訓練生は訓練内容を完全に理解し、着実な洋裁技術習得に繋がっている。 <p>(2) 現地洋裁専門家への TOT: Training of Trainer 訓練生への洋裁指導開始前、現地洋裁専門家および洋裁アシ</p>

	<p>タントへのトレーニングを実施。訓練生の訓練開始後は、1 週間のうち平日週 4 日は、現地洋裁専門家および洋裁アシスタントが日本人洋裁専門家の補佐として訓練に従事。週 1 日は、日本人洋裁専門家による洋裁理論面および技術面の強化訓練を実施。1 ヶ月平均 160 時間(1 日 8 時間×週 5 日×4 週間)の TOT 実習実施により、洋裁技術レベルが着実に伸びている。</p> <p>(3)適切なモニタリング・評価の実施</p> <p>訓練開始後 2 ヶ月ごとにカウンターパートであるガチュリロ職業センター校長とミーティングを実施。現時点の進捗状況、特に実施スピードと作品評価において高い評価を受けている。今後の持続性に向けた協力体制、方向性についても話し合いを実施しており、引続き協力関係を維持していく。</p> <p>(4)1 年目修了生のフォローアップ</p> <ul style="list-style-type: none">・訓練終了後 5 ヶ月目にあたる 2014 年 11 月に、全修了生に声を掛け、フォローアップミーティングを実施。現時点の生活、収入、雇用状況、問題点等についてヒアリングし、アドバイスを行った。・また現地在留邦人の方々から、1 年目修了生に対し当会を通じて洋服の注文が入り始め、修了生らの継続的な収入創出に繋がるよう、技術面、デザイン面、完成品質、カスタマーケアなどについての助言も行っている。
<p>(4) 今後の見通し</p>	<p>事業最後半には本事業統括および洋裁指導責任者のルワンダ渡航が予定されており、洋裁技術強化授業で、訓練生の技術補完およびさらなる技術向上訓練を実施予定。上記事業内容(1)～(4)を継続、深化させながらも、後半は以下の事業(5)～(8)も加えることで事業の質を重層的に高めていきたい。</p> <p>(5)ビジネス強化ワークショップ</p> <p>洋裁技術実習に加え、実際の収入、雇用創出強化のために、カウンターパートである職業開発庁やガチュリロ職業訓練センター協力のもと以下研修を実施する。</p> <p>①市場調査・マーケティング講習 ②起業家講習 ③プロダクション・ユニット設立講習 ④組合設立講習</p> <p>(6)made in Rwanda 製品開発実習</p> <p>ルワンダの生地「ギテンゲ」を使用した made in Rwanda 製品の開発、製</p>

	<p>作実習を行う。</p> <p>(7)三カ国語併記洋裁テキストブックの製作 訓練生らが習得技術の維持、向上が自立的に行えるよう、キニアルワンダ語、英語、日本語によるテキストブックを製作する。(1年次からの改訂版)</p> <p>(8) 修了式および製作披露発表会 習得技術および made in Rwanda 製品披露の場として、修了式を兼ねたミニファッションショー形式で製作披露発表会を行う。修了生には洋裁技術習得修了証を授与予定。また政府関係者、関係機関代表も招待し、その成果を直接確認・共有することで今後の更なる持続的な活動に繋げていく。</p>
--	--